



I 第50週の発生動向 (2024/12/9~2024/12/15)

- 1. インフルエンザについては、上十三保健所管内の定点当たり報告数が注意報レベルとなりました。
2. 水痘については、東地方+青森市保健所管内及び上十三保健所管内の定点当たり報告数が注意報レベルとなりました。
3. 手足口病については、上十三保健所管内で警報が継続しています。一方、三戸地方+八戸市保健所管内の警報は解除となりました。
4. 伝染性紅斑については、東地方+青森市保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内、上十三保健所管内及びむつ保健所管内で警報が継続しています。
5. 新型コロナウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数の増加が継続していますので、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

II 第50週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

Table with columns for region (東青, 中南, 三八, 西北, 上北, 下北, 青森県計) and rows for various diseases (インフルエンザ, 新型コロナウイルス感染症, etc.)

感染症の窓

鳥インフルエンザ

鳥インフルエンザは、鳥類に対して感染性を示すA型インフルエンザウイルスによる感染症です。鳥インフルエンザウイルスは、通常はヒトに感染しませんが、感染したトリに触れる等、濃厚接触をした場合などに極めてまれにヒトに感染することがあり、ヒトに感染した場合も鳥インフルエンザという病名を使います。

感染症法では、ヒトの鳥インフルエンザのうち、A (H5N1) 及びA (H7N9) の鳥インフルエンザは二類感染症、それ以外の亜型の鳥インフルエンザは四類感染症に位置付けられています。

A (H5N1) 及びA (H7N9) の鳥インフルエンザでは、高熱、急性呼吸器症状及び肺炎が多くみられ、死亡例では進行性の呼吸不全が多くみられます。H5N1 及びH7N9 を除く鳥インフルエンザでは、突然の高熱、咳などの呼吸器症状の他、下痢、重篤な肺炎、多臓器不全などの全身症状を引き起こす重症例もあります。

これまでに報告されている患者のほとんどが家きんやその排泄物、死体、臓器などに濃厚な接触があったとされていますので、衰弱または死亡した野生の鳥には不用意に触らないようにしましょう。また、外出先から帰ったら石けんで手を洗う等、日常的な感染症予防を心がけましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。鳥インフルエンザについて(厚生労働省 HP)



海外での鳥扱い説明書

鳥扱いの基礎知識

鳥インフルエンザウイルスに感染した鳥と接触したヒトが、まれに鳥インフルエンザを発症することがあります。世界では、アジアやアフリカ、中東で、これまでに850人以上が鳥インフルエンザ(H5N1)を発症、450人以上が亡くなっています。

鳥扱いの具体策

養 鶏場、鳥の羽をむしるなどの処理をしているところ、鳥を売買している市場に近づくのを避けましょう。弱 弱った鳥や死んだ鳥にさわったり、鳥のフンが舞い上がっている場所で、ホコリを吸い込まないようにしましょう。外 外出から帰ったら、せつけんを手を洗うなど、日常的な感染症予防を心がけましょう。

鳥扱いの注意点

発生 生国からの帰国時に発熱やせきがある方、鳥インフルエンザに感染した鳥(死んだ鳥を含む)や患者に接触したと思われる方は、検疫所の担当者にご相談ください。帰国時には症状がなく、帰国後に発熱やせきの症状が現れた場合は、医療機関を受診し、鳥インフルエンザの発生地域に滞在していたことをお知らせください。ご不明な点は、最寄りの保健所にご相談ください。

出典：厚生労働省リーフレットより抜粋

### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核(二類感染症)：青森市1人、弘前1人、八戸市1人 (2024年計：117人)
- ・つつが虫病(四類感染症)：弘前1人 (2024年計：14人)
- ・レジオネラ症(四類感染症)：弘前1人 (2024年計：17人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(五類感染症)：青森市1人 (2024年計：31人)

### Ⅳ 病原体検出情報 ※ ( ) 内は、検査材料及び検体採取日

つつが虫病疑い患者 (全血及び痂皮、12/5) …*Orientia tsutsugamushi*(Karp型)：弘前1人

### Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2024年第48週～)

・第50週の患者報告数は442人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは424人【A型：424人、B型：0人】でした。

保健所管内別報告数 (人)

保健所名	2024年			2025年				
	48	49	50	51	52	1	2	3
東地方+青森市	12	35	107					
弘前	27	25	90					
三戸地方+八戸市	40	82	104					
五所川原	6	2	10					
上十三	17	68	114					
むつ	13	20	17					
合計	115	232	442					

A型 (迅速診断キットによる型別)(人)

保健所名	2024年			2025年				
	48	49	50	51	52	1	2	3
東地方+青森市	12	34	105					
弘前	27	25	90					
三戸地方+八戸市	39	80	103					
五所川原	6	2	10					
上十三	17	65	101					
むつ	12	14	15					
合計	113	220	424					

B型 (迅速診断キットによる型別)(人)

保健所名	2024年			2025年				
	48	49	50	51	52	1	2	3
東地方+青森市		1						
弘前								
三戸地方+八戸市								
五所川原								
上十三								
むつ								
合計		1						

年齢区分別(人)

年齢区分	2024年			2025年				
	48	49	50	51	52	1	2	3
～5ヶ月		1	3					
～11ヶ月		1	3					
1歳	5	3	4					
2歳	2	2	8					
3歳	5	2	12					
4歳	6	7	14					
5歳	7	11	20					
6歳	12	9	23					
7歳	7	13	29					
8歳	7	20	25					
9歳	6	12	30					
10～14歳	15	61	119					
15～19歳	8	34	22					
20～29歳	6	6	10					
30～39歳	3	16	29					
40～49歳	11	12	21					
50～59歳	2	7	25					
60～69歳	4	9	12					
70～79歳	2	3	14					
80歳以上	7	3	19					
合計	115	232	442					

**VI 県内インフルエンザウイルス検出情報**（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）  
第 50 週時点で提出された検体はありません。

**VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況**（2024 年第 47 週～2024 年第 50 週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
47	アメーバ赤痢1人 梅毒1人	百日咳1人	梅毒1人			百日咳3人
48		カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人			百日咳1人	百日咳1人
49	梅毒1人		つつが虫病1人 梅毒1人	梅毒1人	百日咳1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人	百日咳1人
50	カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人				

第 49 週に上十三保健所管内で侵襲性肺炎球菌感染症の届出が 1 件ありましたので追加しました。

**VIII 結核(二類感染症)**（2024 年第 47 週～2024 年第 50 週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
47				1		
48				1		
49		1		1		
50	1	1	1			

**Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）**（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

**全国**（2024年第1週～第49週までの累計）

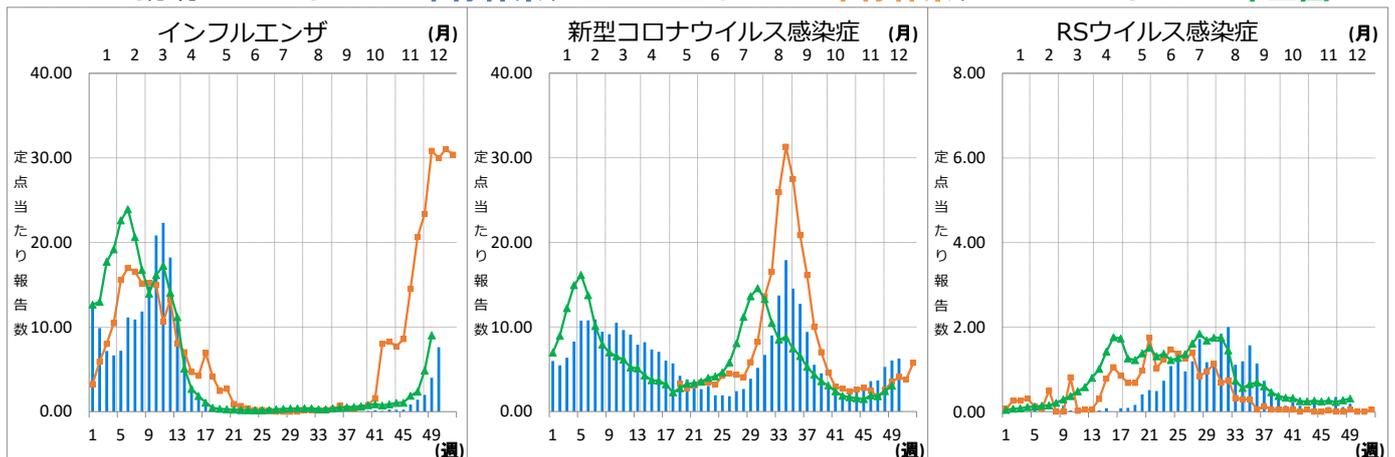
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	エムポックス
累積報告数	15018	2	71	3618	41	6	489	130	15	19
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱
累積報告数	4	11	6	4	4	118	2	10	247	224
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	515	9	4	6	45	25	2	2295	52	486
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	214	2148	44	523	26	161	1805	933	37	592
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん
累積報告数	61	2267	454	13789	182	79	116	3509	6	44
分類	五類									
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症									
累積報告数	6									

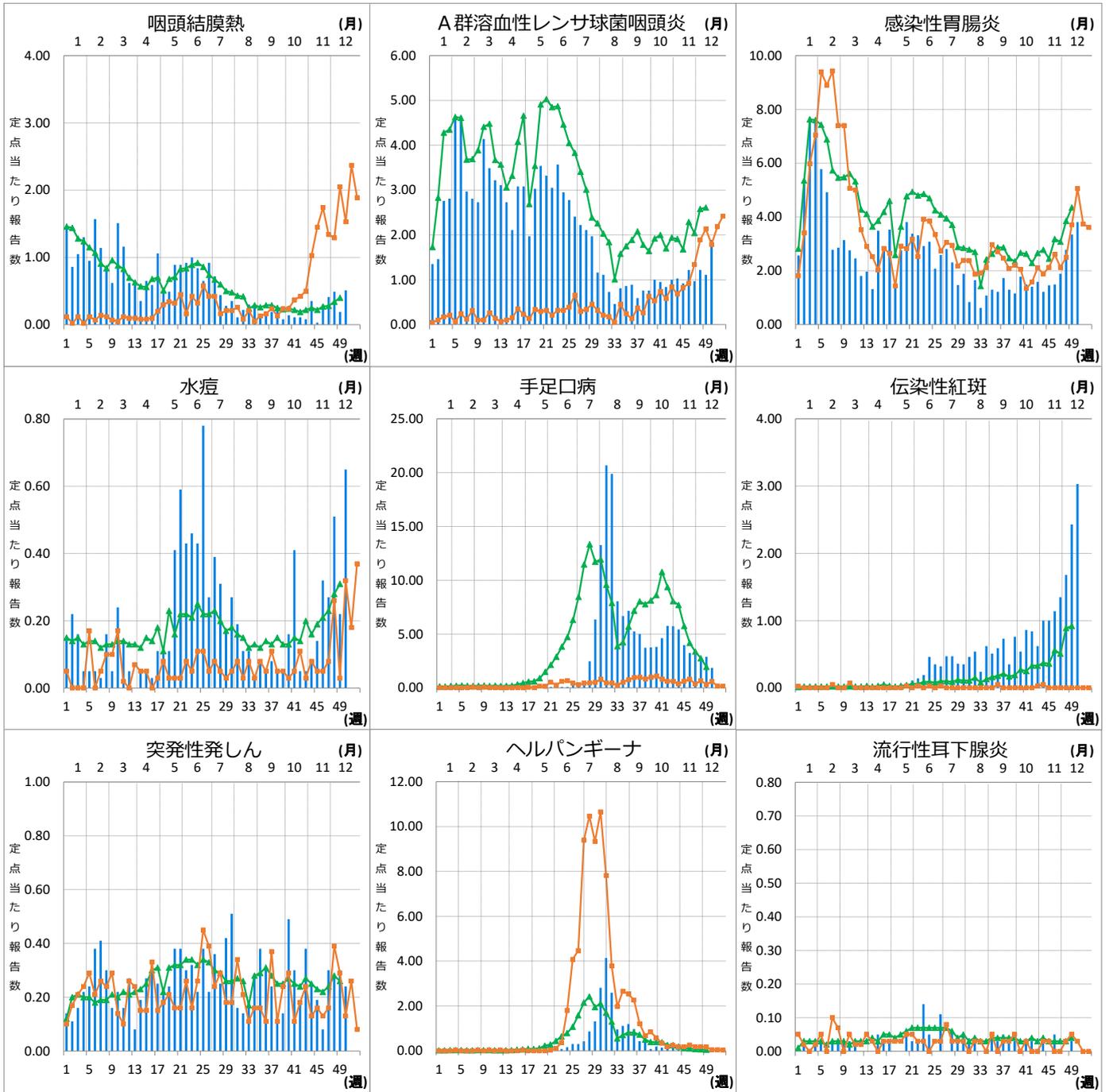
**青森県**（2024年第1週～第50週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	117	26	2	14	1	17	2	31	3	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	百日咳	
累積報告数	7	14	2	4	31	5	29	2	56	

**Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移**（2024年第50週、ただし全国は前週）

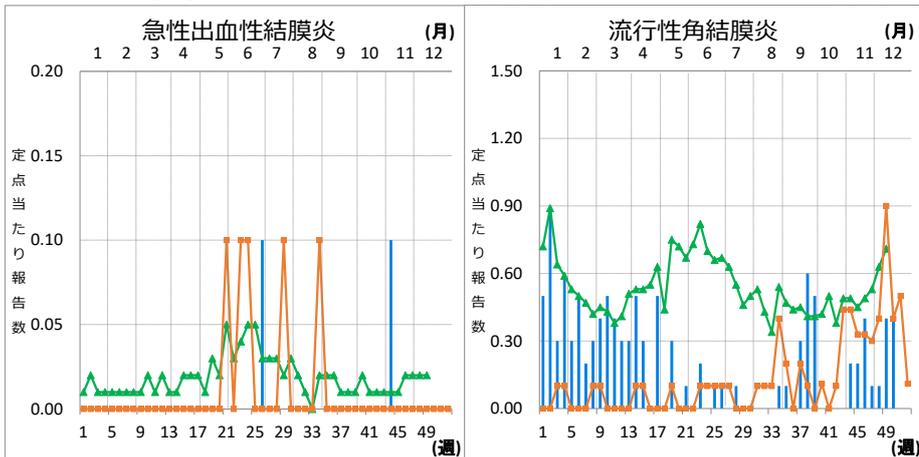
**グラフの説明** ■は2024年青森県、■は2023年青森県、▲は2024年全国





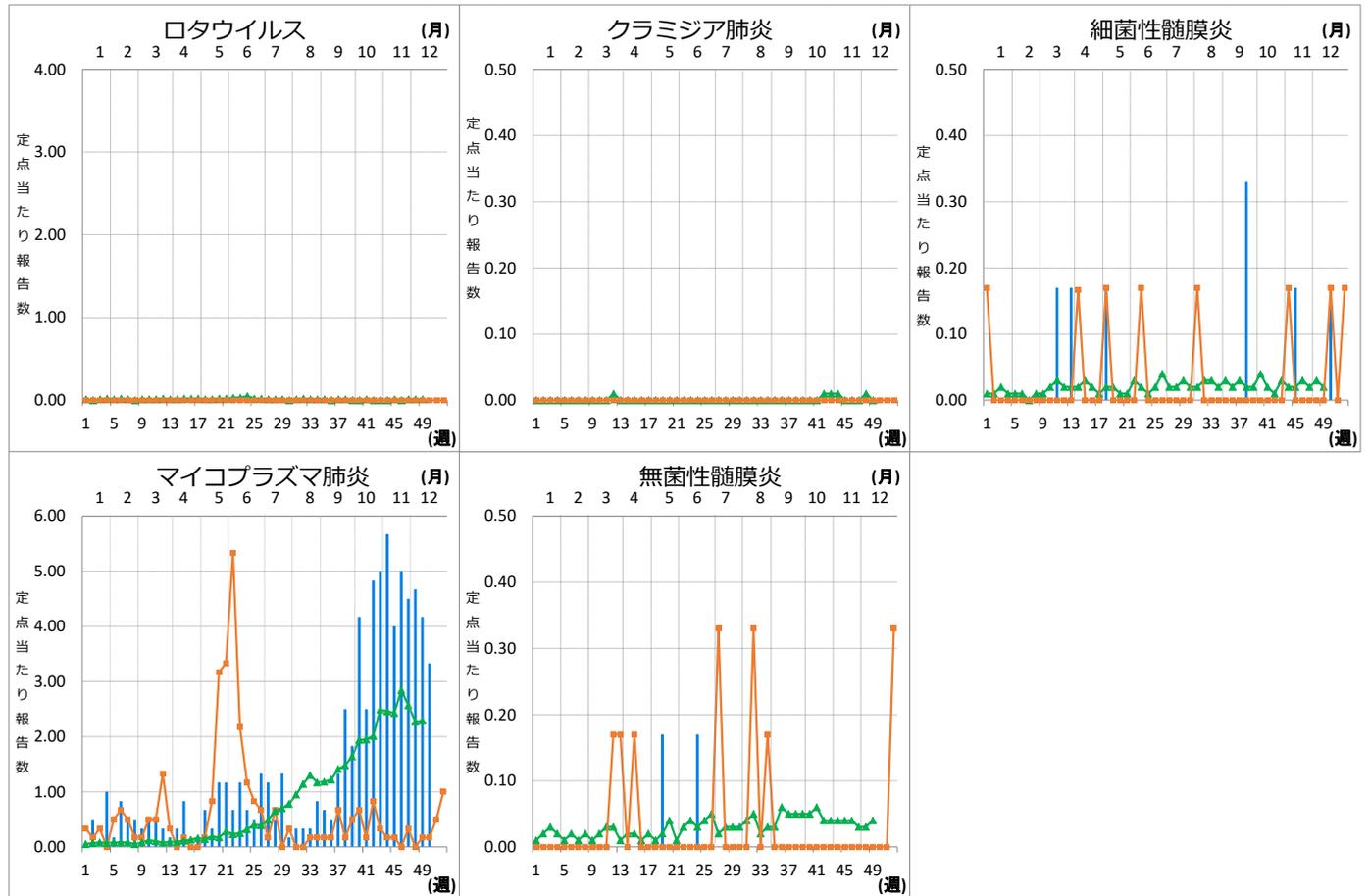
**XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2024年第50週、ただし全国は前週)**

**グラフの説明** ← 青は2024年青森県、オレンジは2023年青森県、緑は2024年全国



**XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2024年第50週、ただし全国は前週）**

**グラフの説明** 〡は2024年青森県、■は2023年青森県、▲は2024年全国



**XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況**

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2024年第50週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第50週	児童・婦人関係施設等	20	青森市保健所管内

2024年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		計 (施設別)	
		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-21週	22-26週	27-30週	31-34週	35-39週	40-43週	44-47週	48週	49週		50週
介護・老人福祉関係施設	件数	4	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	発症者数	78	101	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	195
児童・婦人関係施設等	件数	9	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	13
	発症者数	178	0	17	15	0	0	0	0	10	0	0	0	0	20	240
障がい関係施設	件数	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	発症者数	55	0	12	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	79	
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(月別)	件数	16	7	3	1	0	1	0	0	1	0	0	1		30	
	発症者数	311	101	45	15	0	12	0	0	10	0	0	20		514	